



三津屋小学校

所在地:〒532-0036 淀川区三津屋中1-4-14
電話:06-6301-0005 FAX:06-6301-8711
校長名:松森 佳子



三津屋小学校 検索

校長先生からのメッセージ

三津屋小学校は、大正15年(1926年)に創立された、100年以上の長い歴史と伝統を誇る学校です。大変熱心で活気ある三津屋地域・保護者のみなさまに支えられ、「明るく、強く、なかよきのびる子どもを育てる」という教育目標の下、教職員一丸となって教育活動を推進しています。中でも、本校では、たて割り班活動の機会を多く設定しており、上級生が下級生に優しく接している姿が日常的に見られます。上級生は責任感や思いやり、自己有用感を養い、下級生はそのような上級生の姿に憧れています。子どもたちは学級・学年の横のつながり、たてわり班の縦のつながりの中で、学習の基盤となる様々なことを学んでいます。

● 学校運営に関する計画

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・学校アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・学校アンケートにおける「なかよし班活動で協力して(力を合わせて)楽しむことができた。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・校内アンケートにおける「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間に起きていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

● 令和7年度全国学力・学習状況調査結果

	国語	算数	理科
学 校	65	58	50
大阪市	65	58	55
全 国	66.8	58.0	57.1

● 学力の状況と学力向上に向けた取組

基礎基本の定着、授業改善、言語力の育成、学びに向かう力の育成の4観点から取組を進める。取組として個々のつまづきを調べ、それに応じた課題を与え反復学習を行い基礎基本の定着を図る。また、デジタルドリル[nabima]の活用・学習教材データ等を活用し朝の学習や自主学習の取組を行う。言語力の育成では、「読書タイム」「図書館・図書スペース」の改善、言語活動の工夫を進めていく。体育科を中心とした授業研究により、授業改善を進める。これらのことにより、学びに向かう力を整える。

● 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男 子	15.80	20.42	33.65	41.51	47.35	9.37	149.27	18.20	52.45
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全 国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女 子	15.14	17.47	37.04	38.52	35.26	9.99	137.00	11.35	51.34
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全 国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

● 体力の状況と体力向上に向けた取組

「体力強調週間」や「体力パワーアップタイム」「かけあしタイム週間」「リズムなわとび週間」を設定し、体力向上を図る。記録カードを用いて、日々の成長の進捗が子どもたちの目に見えるようにし、子どもひとり一人が積極的に数値目標を掲げ、意欲的に取り組めるよう、計画・立案していく。教員の授業改善の取組として、校内で体育科の研修を行い、子どもたちが楽しんで取り組めるような授業を展開できるようにする。また、児童の興味関心を高めるためにスポーツ選手による特別授業などを企画し積極的に活用して興味関心の向上を図る。

「み」んなが「つ」ながる「や」さしい町

学校・家庭・地域が力を合わせて、子どもたちを見守り育んでいます。

異年齢集団の取組

1年生から6年生までを縦割りにした「なかよし班」での活動や行事等を活発に行っています。そのため、高学年は低学年にやさしく接し、低学年は高学年に憧れる、そんなほほえましい姿が、日常的に学校のおちらこちらで見られます。

1学期には「みつやフェスティバル」、2学期には「全校オリエンテーリング」を行います。



なかよし班による全校オリエンテーリング

地域の支援を受けて

図書館ボランティア「お話をくわく」のみなさんが、毎週1回、絵本の読み聞かせ等をしてくださいます。また、絵本展など、本に触れる機会をたくさん設けていただいています。

1年生は、地域老人会の方に昔遊びを教えていただき、3年生以上で、地域の施設、防災、産業、歴史や平和等について学びます。



「お話をくわく」による読み聞かせ

校外学習・体験学習

1年生から6年生まで、さまざまな校外学習、体験学習を実施しています。

教室で学ぶだけでなく、学んだことをいかしたり、体験を通して新たに学んだりすることで、確かな学力へとつなげていくことができるようにしています。



市立科学館での社会見学

体力向上の取組

縄跳びやかけ足に学校全体で取り組み、子どもたちの体力の向上をはかっています。子どもたちが楽しんで、また、この取り組み期間が終わった後も、自主的に継続して取り組めるように、内容を工夫して実施しています。



高学年のなわとび運動

三津屋小学校 検索 詳細は学校ホームページへ!

